

アジア・オセアニア 豆知識



インフラ整備の加速が、アジアの持続的な成長の鍵に

アジアでは、巨大なインフラの開発計画が目白押しです。そのインフラ需要を巡って、世界の大手企業が受注獲得に乗り出しています。インフラ整備は経済成長を促進させるとともに、貧困削減や、地域における社会・経済の自立的発展に貢献するとされています。インフラ整備の加速が、アジアの持続的な成長の鍵を握るため、その動向が注目されます。

アジアで必要なインフラ需要は年間1兆7千億米ドル

アジア開発銀行（ADB）の試算によると、2016～30年の**アジア太平洋地域のインフラ需要は26兆米ドル、年間で1兆7千億米ドルを超える**とされています。

ADBによる前回の2009年の予測では、2010～20年のインフラ需要は8兆米ドル、年間で7,500億米ドルであったため、今回の予測により、年間ベースで需要額が倍増しました。アジアの経済成長は引き続き高いと見込まれ、さらなるインフラ需要が生じていることが背景です。

近年のアジアでは、特に交通網、発電能力、通信、水関連のインフラ整備が大きく進展しており、経済成長、貧困削減および人々の生活水準の向上に寄与しています。しかしながら、ADBの試算にも示されるように、成長を続けるアジアにおいて、インフラ投資はまだ十分とはいえません。

（注）ADBの試算は“Meeting Asia’s Infrastructure Needs”による気候変動調整済み予測額。

インフラ整備の加速で期待されるアジア経済の成長加速

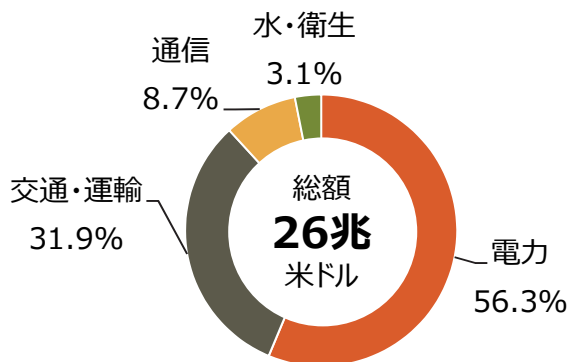
こうした中、アジア各国・地域では、電力供給網や高速鉄道、地下鉄、高速道路、空港など巨大インフラの開発計画が目白押しとなっており、世界の大手企業がアジアのインフラ開発計画の受注獲得に乗り出しています。

インフラ整備には多額の資金が必要であり、ADBは、インフラ不足の解決には民間企業の活用が不可欠としています。一方、企業側にとってもインフラ需要を取り込むことで、多くの事業機会を得ることが可能となります。

官民連携により未来を見据えて、持続的な成長のため基盤作りに注力するアジア。今後のインフラ整備の進展やそれに伴う成長加速が期待されます。

<分野別、アジア太平洋地域のインフラ需要>

2016年～2030年の累計予測額による比率



（注）アジア太平洋地域は45カの開発途上国・地域。
（出所）ADBのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。